

# 命を守るために

## 台風第19号を振り返る



10月12日に通過した台風第19号では、関東甲信地方や東北地方で記録的な大雨となり、各地に甚大な被害をもたらしました。加須市では、幸いにして大きな被害はでなかったものの、市では初となる「避難準備・高齢者等避難開始」、続いて「避難指示(緊急)」を発令し、避難所には最大で約9,500人の方が避難しました。初の避難指示やバスによる広域避難など、これまで経験したことのない大規模な避難となり、さまざまな課題が浮かび上がりました。今回の台風における市の対応を振り返ります。

問合せ  
危機管理防災課  
(☎内線256)

日付	時間	市の対応
10/10 (木)	16:30	危機対策会議の設置
10/12 (土)	9:00	災害警戒本部の設置
	10:00	市内7カ所の自主避難所を開設
	15:10	災害対策本部へ移行・設置
	15:30	市内小学校等23カ所を「自主避難所」として開設を決定
	16:20	「避難準備・高齢者等避難開始」発令 対象地区：種足1～8区 対象河川：荒川
10/12 (土)	22:29	利根川上流河川事務所から「明日6時の栗橋の予測水位は氾濫危険水位には達しないが、予断を許さない」との連絡
	23:00	「明日4時に避難勧告」を発令するための「避難の準備」を周知 対象地区：樋遣川地区、大越地区、北川辺地域および大利根地域 対象河川：利根川・渡良瀬川
10/13 (日)	0:47	利根川上流河川事務所から「3時の栗橋の水位が計画高水位を超える見込み」との連絡
	1:00	「避難指示(緊急)」発令 対象地域：北川辺地域 対象河川：利根川・渡良瀬川 ・広域避難所を順次開設 ・バスによる広域避難を開始 ・加須警察署に交通指導を依頼
	2:00	「避難指示(緊急)」発令 対象地域：樋遣川地区・大越地区および大利根地域 対象河川：利根川 ・バスによる広域避難を開始
	8:10	発令中の「避難指示(緊急)」、「避難準備・高齢者等避難開始」解除 全避難所閉鎖
	10:10	災害対策本部廃止

▼急激な水位上昇、真夜中の避難指示  
市災害対策本部では、12日午後4時20分、荒川の水位上昇のため、騎西地域種足第1区～8区を対象に「避難準備・高齢者等避難開始」を発令しました。一方、利根川では水位の急激な上昇により、午後11時に、樋遣川地区・大越地区、北川辺地域、大利根地域に対し、翌午前4時に避難勧告を発令するための「避難の準備」について周知しました。しかし、その後も水位の上昇が続いたため、午前1時に北川辺地

域に、午前2時には樋遣川地区・大越地区、大利根地域に対し「避難指示(緊急)」を発令しました。▼約9,500人が避難  
市災害対策本部では、避難情報の発令に伴い、市内外に避難所を開設し、約9,500人が各避難所や公共施設に避難しました。このうち、約8,500人は避難情報の発令に伴う避難で、うち約500人は市が手配したバスに乗車して避難しました。このほか、多数の方が避難所以外にも避難しました。